

平成24年行政事業レビューシート (環境省)									
事業名	鳥獣保護管理強化総合対策事業			担当部局	自然環境局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～平成28年度			担当課室	国立公園課 鳥獣保護業務室 自然環境整備参事官室			課長 桂川 裕樹 室長 中島 慶二 参事官 大庭 一夫	
会計区分	一般会計			施策名	5-2自然環境の保全・再生 5-3野生生物の保護管理				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	鳥獣保護法第6条、第78条の2 自然公園法第2条第7号、第3条第2項、 第38条～第42条			関係する計画、 通知等	鳥獣の保護を図るための事業を実施するための基本的な指針 生物多様性国家戦略2010 鳥インフルエンザ緊急総合対策について				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	鳥インフルエンザ等の感染症に係る危機管理体制の飛躍的な充実を図るとともに、シカやイノシシ等の食害対策や担い手の確保、国立公園内外のシカ対策の促進等の総合的実施を通じて、人と野生動物の関係が大きく改善し、適切な鳥獣保護管理と地域の活力の回復を図る。また、これにより人と鳥獣が安心して適切に共生できる「豊かなふるさとづくり」に資することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	上記について以下の通り実施。 ①鳥インフルエンザ等の感染症が国内で発生した際に、適時適切に死体の検査や現地調査等を行うため、基金を創設し必要な取組を行う。 ②鳥獣の保護管理を強化するため、担い手となる人材の育成、地域ぐるみでの捕獲のモデル地域づくり等の取組を総合的に行う。 ③我が国の生物多様性保全上、核心的な地域である国立公園でシカによる深刻な生態系被害を受けている地域において、国立公園の貴重な自然環境の保全を図るとともに、国立公園周辺地域への被害の拡大防止を図るため必要な事業を行う。								
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	486	538		
		補正予算	-	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-	-			
		計	-	-	-	486	538		
	執行額		-	-	-				
執行率 (%)		-	-	-					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	野生鳥獣の適正な保護管理及び国立公園の生態系の維持、回復を目的としており、これらを定量的に数字で評価することは困難。			成果実績	—	—	—	—	—
				達成度	%	—	—	—	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	【狩猟免許取得フォーラム】 セミナー実施箇所			活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	— (8箇所)
	【地域ぐるみの捕獲モデル地域づくり】 捕獲モデル地域			活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	— (13地域)
	【国立公園等シカ管理対策事業費】 シカ管理対策事業実施箇所			活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	— (1箇所)
単位当たり コスト	【狩猟免許取得フォーラム】 3,125(千円/箇所数) 【地域ぐるみの捕獲モデル地域づくり】 3,507(千円/箇所数) 【国立公園等シカ管理対策事業費】 140,992(千円/箇所数)			算出根拠	事業費/事業実施箇所数				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内 訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	鳥獣等感染症調査費	60	60						
	職員旅費	1	2						
	環境保全調査費	317	468						
	土地建物借料	8	8						
	国立公園等整備費	100	0						
計	486	538							

事業所管部局による点検				
	評価	項目		評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		○鳥インフルエンザ等の感染症が発生した際の迅速かつ適切な対応は、国民の安全・安心を確保し、鳥獣と安心して共生する上で必要不可欠である。 ○シカ・イノシシによる生態系、農林業及び生活環境への被害は増加を続けており、捕獲の担い手の確保や鳥獣の捕獲を強化することは、鳥獣と適切に共生する上で必要不可欠である。 ○シカによる国立公園の生態系被害の軽減、収束は、国民が利用する国立公園の景観保全や生物多様性保全の観点から重要であり、一刻も早く生態系の維持回復に向けた取組を行う必要がある。 ○これらの業務は、環境省の所管であり、国が自ら実施すべきものである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名		
点検結果	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		近年、我が国において、鳥インフルエンザ等の感染症が野鳥で発生したり、生息地を拡大した鳥獣による生態系被害や農林水産業被害、更には人身被害が大量に発生しており、深刻な問題となっている。こうした状況を踏まえ、平成23年9月に鳥獣保護法に基づく「鳥獣の保護を図るための事業を実施するための基本的な指針」を改訂し、地域ぐるみの取組等、鳥獣保護管理の担い手対策の推進を含めた各種取組の強化や、これらの取組を総合的に推進している。 鳥獣保護管理の抜本的な強化及び総合的な推進のため、昨年度までの事業手法等の見直しを行った上で、平成24年度から新規事業として効率的、効果的な事業の執行に努めている。
予算監視・効率化チームの所見				
－		「国立公園等における大型獣との共生推進費」と整理統合するとともに、「特定鳥獣等実態調査・検討事業」は、調査内容を精査・重点化し、効果的・効率的に事業を実施すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)				
－		－		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	新24-028	

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロック
ごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					